

経営比較分析表

埼玉県 杉戸町

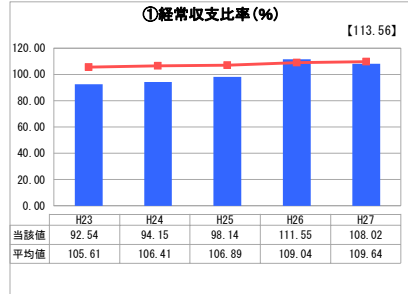
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A5 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 82.49 | 99.93 | 2,754 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 46,109 | 30.03 | 1,535.43 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 46,033 | 30.03 | 1,532.90 |

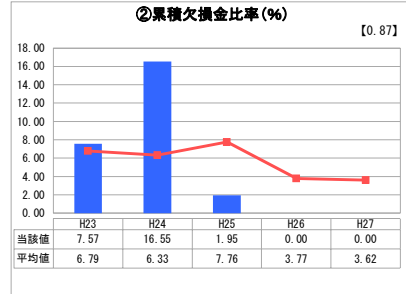
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

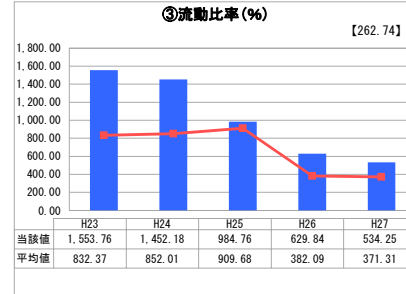
1. 経営の健全性・効率性



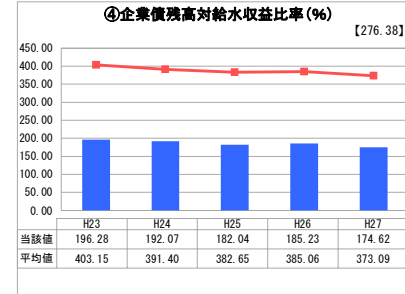
「経常損益」



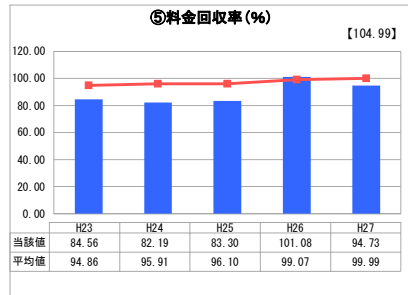
「累積欠損」



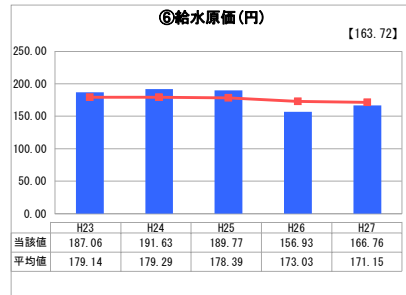
「支払能力」



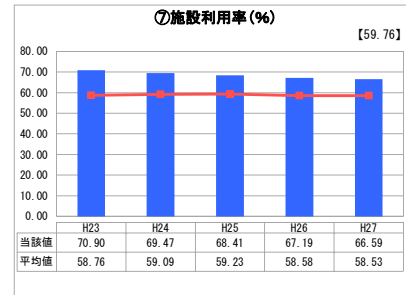
「債務残高」



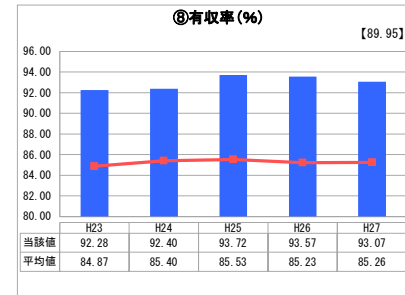
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

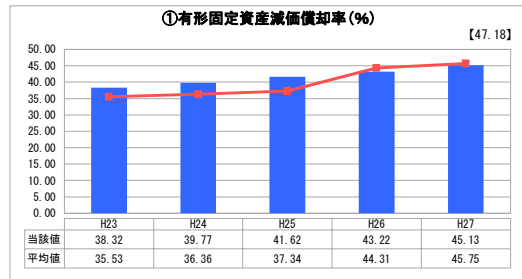


「施設の効率性」

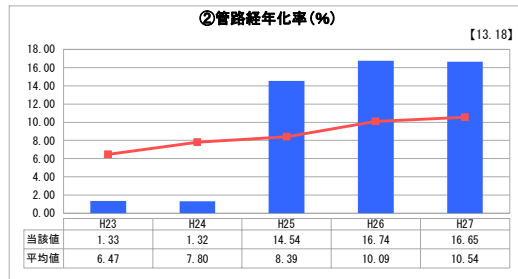


「供給した配水量の効率性」

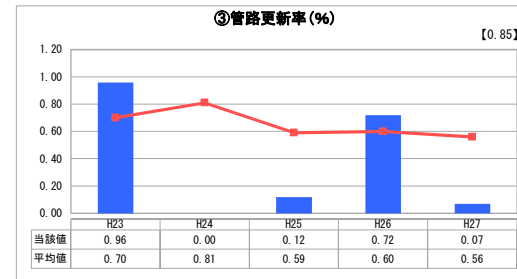
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支は赤字が続いていたが、H26年度から、会計制度の変更により、黒字となった。
- ② 純損失については剰余金の取崩しに対応をしているので、繰越欠損金は発生していない。H26年度からは純利益が生じており、累積欠損金は発生しなかった。
- ③ 流動比率については、平均値を上回っており、100%を上回っているため、短期的な債務に対する支払能力は十分である。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は平均を下回っており、一定水準を保っている。
- ⑤ 料金回収率はH26年度を除き、100%を下回っている。料金収入では賸り、他の収入に依存している。
- ⑥ 給水原価は経費の見直し等を行い、節減に努めている。
- ⑦ 施設利用率は平均を上回っており、十分な水準を有している。
- ⑧ 有収率は、平均を上回っており、十分な漏水対策の効果が表れている。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は平均を下回っているが、施設や管路の老朽化が進んでいる。
- ② 管路経年化率は平成25年度に再調査し、実績値を把握し、順次更新事業を実施している。
- ③ 管路更新率は年度によりばらつきがあるが、着実に実施している。

全体総括

給水原価が供給単価を上回っており、また、平成9年度を最後に料金見直しを実施していないことから、今後は、原価の上昇及び老朽管の更新に対して財源確保を勘案し、料金見直しを検討する予定。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。